

J-クレジット制度認証委員会 御中

実績確認概要書

平成 26 年 8 月 25 日

審査機関名 株式会社日本スマートエネルギー認証機構

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラ及び灯油ボイラから都市ガスボイラへの更新プロジェクト
承認番号	JCDM-PJ1492
排出削減事業者名	カネハツ食品株式会社
排出削減共同実施事業者名	株式会社 F T カーボン
事業実施場所	カネハツ食品株式会社 本社工場 (愛知県名古屋市中区豊 3-19-24)
事業の概要	A 重油ボイラ 2 基及び灯油ボイラ 3 基を都市ガスボイラ 6 基へ更新する。高効率の都市ガスボイラへ更新し、単位発熱量あたりの CO2 排出量が少ない都市ガスへ燃料転換することで CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2011 年度 461 tCO2/年 2012 年度 1,385 tCO2/年 (事業実施期間合計 1,846 tCO2)
J-クレジット・国内クレジット認証期間	開始日 2011 年 12 月 1 日 終了予定日 2019 年 11 月 30 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2013 年 4 月 1 日～2016 年 4 月 27 日 (第 2 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	3,912 tCO ₂ (2013年4月1日～2016年4月27日)
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1) 承認排出削減事業計画に従い、既存重油ボイラ及び灯油ボイラより効率の高い都市ガスボイラへ更新する事業が実施されていることを現地視察により確認した。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間におけるエネルギー使用実績及び今回の現地審査にて確認した。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであり前回の実績確認と重複がないことを、事業計画・第一回実績報告書との突合及びエネルギー使用実績により確認した。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法については、承認事業計画に従って、都市ガス使用量が請求書を基に集計・算定されていることを確認した。 2) 都市ガスの使用量については、責任者により請求書の管理・保存が適切になされており、使用量が正確に集計されていることを確認した。 3) 排出削減量の算定式及び使用されている排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、算定結果が正確であることを確認した。

	<p>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。</p> <p>5) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
<p>算定期間が 2021 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>算定期間は 2013 年 4 月 1 日～2016 年 4 月 27 日までであり、2021 年 3 月 31 日を超えない。</p>

5. 特記事項

確認した排出削減量（クレジット量）に相当する省エネ量について、原油換算で 246.1kL であることを確認した。

以上